

令和2年度山形県障がい者相談支援従事者研修(初任者研修)

- 【 獲得目標 】
- ①地域を基盤としたソーシャルワークとしての障害者相談支援の価値と知識を理解する。
 - ②基本相談支援の理論と実際を理解し、障害者ケアマネジメントのスキルを獲得する。
 - ③計画相談支援の実施に関する実務を理解し、一連の業務ができる。
 - ④地域づくりとその核となる自立支援協議会の役割と機能を理解する。

【 講義2日間 】

期日	時間	研修名及び内容	会場		
8/18 (火)	9:30 ~ 9:50	受付	山形県村山総合支庁 (北庁舎) 講堂		
	9:50 ~ 10:00	開講式			
	10:00 ~ 11:00	オリエンテーション・研修受講ガイダンス			
		相談支援事業所まんさく		大滝 正貴 氏	
	11:00 ~ 12:30	相談支援概論 ①相談支援(障がい児者支援)の目的 基本的人権の尊重のための支援の意味と価値を理解する。また、利用者理解の重要性について理解するとともに、障がい児者の地域での生活の実情について理解する。		相談支援専門員・ピアカウンセラー	平間 みゆき 氏
	13:30 ~ 16:00	相談支援概論 ②相談支援の基本的視点(障がい児者支援の基本的視点) 本人を中心とした支援を実施するにあたり、相談援助(障がい児者支援)の基本的な姿勢について理解する。		鶴岡市福祉課障害福祉係 サポートセンターゆい	渡部 和樹 氏 大浦美根子 氏
16:00 ~ 17:00	相談支援概論 ③相談援助に必要な技術 本人を中心とした支援を実施するにあたり、獲得すべき相談援助技術について理解する。	ゆあーず	二関 郁子 氏		
8/19 (水)	8:40 ~ 9:00	受付	山形県村山総合支庁 (北庁舎) 講堂		
	9:00 ~ 10:30	障害者総合支援法及び児童福祉法の理念・現状とサービス提供プロセス及びその他関連する法律等に関する理解 障害者総合支援法等の目的、基本理念や障害福祉サービス等の基本的な内容を理解する。 また、障害者総合支援法等における自立支援給付等の仕組みを理解する。 障害者支援における権利擁護と虐待防止に関わる法律を理解する。		県障がい福祉課 主査	佐藤 寛幸 氏
	10:30 ~ 12:00	障害者総合支援法及び児童福祉法における相談支援(サービス提供)の基本 障害福祉サービス等の提供における相談支援専門員とサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の役割、両者の関係性を理解する。 サービス提供において利用者の権利擁護と虐待防止を図るために相談支援専門員とサービス管理責任者等が果たすべき役割を理解する。		向陽園地域生活支援センター心音	会田 雄 氏
	13:00 ~ 14:30	相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス 本人を中心としたケアマネジメントのプロセスと必要な技術の全体像について理解する。		地域生活支援センター天花	藤田 利江 氏
	14:30 ~ 15:30	相談支援における地域への視点 相談支援において地域資源を把握しネットワークを構築することの重要性について理解する。 (地域における社会資源の開発、改善及び創設に向けた取り組みについての活動報告)		一般社団法人Pasio まなびのへやバンビーナ松原	佐原 和紀 氏 三澤 貴子 氏
	15:30 ~ 16:15	相談支援における地域への視点 各相談支援事業の役割と機能を理解し、相互が連携することにより地域において効果的な相談支援体制が構築されることを理解する。 相談支援において地域資源を把握しネットワークを構築することの重要性について理解する。 (自立支援)協議会の目的、仕組み、機能について理解する。		あおぞら	板谷越智美 氏
	16:15 ~ 18:30	研修のまとめ		相談支援事業所まんさく	大滝 正貴 氏

【演習5日間】

8/25 (火)	9:00 ~ 9:30	受付		
	9:30 ~ 17:00	相談支援の実際(ケアマネジメント手法を用いた相談支援プロセスの具体的理解)	<p>○受付及び初期相談並びに契約 受付及び初期相談(インターク)、契約の各場面で求められる実践的な技術を修得する。</p> <p>○アセスメント(事前評価)及びニーズ把握 利用者の主訴を明確にし、本人・家族等からの情報収集とその分析を通して相談支援専門員としての専門的な判断の根拠を説明できる技術を修得する。 また、アセスメントにおいて収集した情報から、専門職としてニーズを導くための技術を修得する。</p>	<p>サポートセンターあかつき 横山 陽子 氏</p> <p>ゆあーず 二関 郁子 氏</p>
8/26 (水)	8:40 ~ 9:00	受付		サポートセンターゆい 大浦美根子 氏
	9:00 ~ 14:00	相談支援の実際(ケアマネジメント手法を用いた相談支援プロセスの具体的理解)	<p>○目標の設定と計画作成 本人の意向とニーズを踏まえた目標設定と目標を実現するためのサービス等利用計画等の作成技術を修得する。 また、より適切で質の高いサービスを提供するためには、サービス等利用計画と個別支援計画等との連動が重要であることを理解する。</p> <p>多職種とのアセスメント結果の共有やサービス等利用計画の原案に対する専門的見知からの意見収集の意義を理解し、サービス担当者等による会議の開催に係る具体的な方法を修得する。</p>	<p>向陽園地域生活支援センター心音 会田 雄 氏</p> <p>指定相談支援事業所ピース 齋藤 有美 氏</p> <p>ライフサポート杏の里 手塚 裕樹 氏</p> <p>あおぞら 板谷越智美 氏</p> <p>相談支援事業所まんさく 大滝 正貴 氏</p> <p>地域生活支援センター天花 藤田 利江 氏</p>
	14:00 ~ 16:00	相談支援の実際(ケアマネジメント手法を用いた相談支援プロセスの具体的理解)	<p>○評価及び最終 ケアマネジメントプロセスにおけるモニタリングの意義・目的や多職種との連携によるサービス実施の効果を検証することの重要性を理解する。 また、検証の結果、支援が終結されることの意義と留意すべき事項について理解する。</p>	<p>鶴岡市福祉課障害福祉係 渡部 和樹 氏</p> <p>相談支援事業所光生園 神尾 誠 氏</p> <p>相談支援事業所ふいご 渡邊 京子 氏</p> <p>基幹相談支援センター「かぼちゃ」 豊島 陽子 氏</p>
	16:00 ~ 17:00	実習ガイダンス	研修における実習の位置付けと目的、実施方法を理解し、効果的な実習に結びつける。	
インターバル実習1回目		相談支援の基礎技術に関する実習1		
10/8 (木)	9:00 ~ 9:30	受付		
	9:30 ~ 17:00	実践研究1(事例の共有と相互評価1)	<p>自ら実施したアセスメント及びプランニング等について、その根拠を踏まえて分かりやすく説明できる技術を修得する。 他者からの多角的な意見により視点が広がり、アセスメントが深まることを理解する。</p>	同上
インターバル実習2回目		相談支援の基礎技術に関する実習2		
10/26 (月)	8:40 ~ 9:00	受付		
	9:00 ~ 14:30	実践研究2(事例の共有と相互評価2)	<p>自ら再実施したアセスメント及びプランニング等について、その根拠を踏まえて分かりやすく説明できる技術を修得する。 他者からの多角的な意見により視点が広がり、アセスメントが深まることを理解する。</p>	
	14:30 ~ 17:30	実践研究3(事例研究とサービス等利用計画)	<p>グループによる事例研究を通じて、サービス等利用計画作成について理解を深め、技術を修得する。</p>	
10/27 (火)	8:40 ~ 9:00	受付		
	9:00 ~ 12:00	実践研究3(事例研究とサービス等利用計画)	同上	同上
	13:00 ~ 16:00	研修全体を振り返っての意見交換、講師及びネットワーク作り	<p>研修全体の振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽意欲を高める。 また研修受講者間でのネットワークの構築を図る。</p>	
	16:00 ~ 18:30	研修のまとめ		
	18:30 ~ 18:50	閉講式		

山形県村山総合支庁
(北庁舎) 講堂

山形県総合運動公園
大会議室

山形県総合運動公園
大会議室